

市指定

所在地：北野

もくぞうあみだによらいりゅうぞう

木造阿弥陀如来立像

寄木造の阿弥陀如来立像で、目には玉眼をはめている。面相には張りがあり、全体に写実的表現が成されている。螺髪は平たく渦巻状に彫出され、衣は金箔で方形の模様が表される。

丁寧に仕上げられた頭部や面部の表現、形式化した体■などは、室町時代以降の安阿弥陀あんあみよう様の仏像に多く見られる。鎌倉時代の仏師康俊の作と伝えるが、制作時期は下るものと見られる。

安阿弥陀を名乗った仏師快慶が、立像形式の阿弥陀如来像の様式を完成させたことから、このような仏像を安阿弥陀様と称する。

念仏寺所在。

像高95cm。

